

学校だより

しらかば



第 8 号

令和8年 9月30日

西興部中学校

村の秋に、生徒がいる

校長 川合 伸幸

9月11日、西興部神社の例大祭。午前10時40分、みこしの渡御とともに獅子舞が村へ繰り出しました。その獅子舞を担っているのが、本校の中学生たちです。地域の一軒また一軒を訪ね歩き、温かい声援を受けながら舞う。祭りの熱気の中に、確かに本校の生徒の姿がありました。

村を歩き、地域の方々に見守られ、祭りの担い手として舞う。この経験そのものが、村のめざす子ども像の「ふるさとを愛し」を育てているのだと思います。ふるさとへの愛着は、教室だけで身につくものではありません。神社の境内で、みこしの列の中で、声をかけてくださる方々のまなざしの中で、少しずつ心に根を張っていくものです。

先のマラソン記録チャレンジ会でも、忘れられない光景がありました。沿道に立った村民の方々が、走る子どもたち一人一人に声援を送ってくださったのです。応援は、ただ嬉しいだけのものではありません。誰かが見てくれている、誰かが信じてくれているという実感が、あと一步を踏み出す力に変わります。地域の声に背中を押され、苦しい場面でも足を止めず力を出し切った子どもたちの姿に、この村で育つ生徒に幸せを感じました。

9月に札幌への修学旅行を終えた3年生も、思いどおりにいかない場面でその都度相談し、判断し、やりきって帰ってきました。決められた道をたどるだけでなく、自分たちで考えて選び取っていく。その一つ一つが、子ども像の「未来を創る」力につながっていきます。

そして今、子どもたちの目は10月3日の文化祭に向いています。全校12名の本校では、一人一人が欠かせない役割を担います。誰かがいなければ舞台は成り立たない。それは重荷でもありますが、同時に、自分がいなければならぬ場所が確かにあるということでもあります。獅子舞で一軒ずつ丁寧に舞ったように、文化祭の完成度もまた、当日の華やかさよりも、それまでの地道な準備の日々に支えられています。地域に支えられ力を出し切ってきた子どもたちが、今度は自分たちの手で舞台を創り上げ、その姿を村の皆様にお見せする番です。

これらの学びは、地域の皆様に支えられて初めて成り立ちます。獅子舞やマラソンへの温かい声援、日頃の見守りに、心より感謝申し上げます。文化祭にもぜひ足をお運びいただき、子どもたちの姿をご覧いただければ幸いです。

「稔りの秋に神様のめぐみ仰ぐや村祭」。唱歌「村祭」の一節です。実り豊かなこの季節に、ふるさとを愛し未来を創る子どもたちの歩みを後ろから支え、やりきった瞬間と一緒に喜べるよう、私たち教職員一同、力を尽くしてまいります。

9月は盛りだくさんな〇〇〇でした

9月はたくさんの行事や取組がありました。普段の教室の授業だけではなく、学校や地域の行事を通して、仲間と協力し、自ら考え行動する力を育んでいます。一つ一つの経験が子どもたちの成長につながっています。10月はいよいよ文化祭。生徒が自分の未来を考え、いろんなことへ挑戦できる学校環境を整えていきます。

理科で豚の眼球を解剖中。写真は水晶体でしょうか

マラソン記録チャレンジ会。たくさんの応援ありがとうございました

神社祭。獅子舞の口から顔が見えますね。

修学旅行では札幌小樽を満喫。すごく楽しめました！

へき地実習の学生も器楽練習に携わってくれました。

職場体験学習では普段学校では体験できない学びを深めることができました。

10月 行事予定

- 3日(土) 文化祭
- 5日(月) 振替休業日(文化祭)
- 6日(火) 全校集会
- 7日(水) 学力テスト(3年)
- 9日(水) 委員会
- 12日(月) **スポーツの日**
- 13日(火) 視力検査(～16日)
- 15日(金) 紋別バイオマス発電所見学(2、3年)
- 17日(土) **学芸会(小学校)**
- 20日(火) 代議員会
- 21日(水) 職員研修日
- 22日(木) 興栄ファーム見学(2、3年)
- 23日(金) 立会演説会、生徒会役員選挙
- 26日(月) 給食講話
- 28日(水) 委員会
- 29日(木) 生徒会役員任命式
- 31日(土) オホーツクチャンピオンシップトーナメント(野球部～11月1日)

授業にお邪魔します！！ ～西中の授業の紹介・国語編～

国語の授業を拝見したら ICT 機器を活用した活動の最中でした。ICT 活用し、一人一人の理解度や学習状況に応じた「個別最適な学び」を進めています。基礎・基本の定着を図るとともに、自分のペースで繰り返し学ぶことで、確かな学力と主体的に学ぶ力を育んでいます。